



# よりそって

『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』

小諸市民生・児童委員協議会 広報部会

## つながる私とあなた

### ～第10回～『コロナ禍からの転換』

【大里・西小諸地区】

全ての活動に制限を強いられたコロナ禍でした。そこから一気に活動再開されたので、対応に戸惑った地域や役員だったかと思います。

しかしコロナ禍を契機に、再考された行事や廃止された行事もあり、時代に即応したコンパクト活動に変化してきたのではないのでしょうか。

各地域で児童行事も復活してきました。近年、国は「こどもまんなか社会」の実現を掲げていますが、地域の人同士が支え合い、つながりがあれば、子どもは安心して地域に溶け込んで、活性化に繋がると思います。

約7割の委員が交代するようですが、【終わった】でなく、課題に向けて地域活動を充実していきたいものです。

任期ご苦労様でした。 大里・西小諸地区主任児童委員 高橋謙司



## 夏休み ふれあい教室

森山区では、冷房の入った公民館を夏休み中の小学生の子どもたちにも開放し、涼しい館内で自由に勉強や遊びをしてみようという、ふれあい教室を3回開催しました。

7月31日はポッチャを行い、8月5日はミニ卓球台で遊びました。公民館に用意してある将棋、囲碁、麻雀、オセロ、お手玉など进行了り、宿題を友達と一緒にやっていた子どもたちもいました。8月6日は午前中それぞれ自由に遊んだ後、カレー作りを委員の皆さんと子供たちでしました。

大広間の食事は子供たちにも大好評で差し入れのパイナップルやトマトもあり楽しかったです。参加人数は3回とも20名弱で、区全体の小学生の4割ほどでしたが、委員の皆さんが毎回子どもたちとほぼ同数参加されたのは大変うれしかったです。



森山区民生・児童委員 下平昭夫

## 委員交代にあたり、三年間

### ご協力ありがとうございました

「よりそって」は、民生・児童委員の役割や活動を、市民の皆様知っていただくことを目的としています。これから、地域のみなさんと民生・児童委員をつなぐ一助になることを願っています。

広報部会長 清水立夫



広報部会地区代表一同



## より良い地域をめざして

健康達人区らぶの参加者が減ってきて困った。来れば元気になって帰ってくるのに。

「うちもそんなだけど、小物作りなどして楽しんでる。」「少人数でも楽しくやってれば、そのうちに…。」

実は、学校の先生から地区の子どものことで相談されて、どうすればいいかわからなくて…。「一人でかかえ込まないで、社協に相談してみたらどうだろう。」

毎年、地域の防災訓練やっていて、いざ火災があった時、住民同士で対処できた。

「うちの区でもやってみたいけど、区の積み重ねがあるからねえ。」

こんな問題が次々に出される地区会。語り合い、深め合い、高め合って川辺地区の皆さんと元気にやってきました。新任期の地区会でも、より良い地域をめざして。

川辺地区会長 松田幹雄

### 民生・児童委員として感じたこと

私たちの日々の活動は、主に独居高齢者の対応が多く、友愛訪問では中々話が終わらず時間をとってしまいますが、それも楽しい時間ではあります。

私が担当している一ツ谷区では、月一度の「健康達人区らぶ」への参加は、歩くのが困難になった人を、介護施設のご厚意で、送迎をしていただき、楽しみに来ておられます。また、耳が遠くなり「行ってもよくわからないからやめとくよ。」という人もいます。歳を取ると出来なくなる事が増えます。それらを手助け出来るようにと心がけてきました。

児童委員としては、小学校の新入生の下校の付き添いや給食の手伝いぐらいで、高齢者への対応ほど活動していません。

今期もあと少しですが、美南ガ丘児童館を視察して、館長さんから今の子どもたちの様子をお聞きすることになっています。

地域の中では、民生・児童委員が何をしているのか知らない人も多いですが、正しく理解していただき、一緒に住み良い地域にしていけたらいいのと思いました。

南大井地区会長 柏木博美

## 児童福祉部会をふり返って

民生・児童委員は、高齢者中心の活動のため、児童福祉部会では、子どもについて何をしたら良いか分からないという意見ばかりでした。まず、教育支援センターで、今のこどもの現状説明を聞き、子供達が抱えている、いじめ・虐待・ひきこもり・不登校等の諸問題があることを知り、良い勉強になりました。

発達障害についての研修で、私達のできる範囲、関連機関にこども情報の「つなぎ役」になることは大切であると学びました。

ボランティア活動で、こどもの行動に、怒りたいと思うこともありました。私達は、こどもとつき合うさい、悪い面を見るのではなく良い所を見つけ、ほめてやった時の笑顔の「すてきだね!」を知りました。部会員がもっと「こどもを知ろう!」と士気向上の三年間だったと思いました。



児童福祉部会では…

児童福祉部会長 中澤隆治